

授業計画

学年	区分	教科名	科目名	授業時間	対象
高校3年	必修	聖書	聖書	週1時間	高3全生徒
到達目標	本授業は、「人間実存の神秘への導入」(inducting)を重視しつつ聖書を学び、複雑な現代社会の諸問題を、キリスト教社会倫理学の領域で生徒と共に考察したい。それは、キリスト教の立場から社会問題に即答や解答を与える倫理的な宣言(ethical pronouncement)としてではなく、人間のおかれている倫理的状況を、キリスト教の啓示の下に分析・洞察(analysis reflection)を加えるものである。				
学習教材	教科書 『聖書』 副教材 なし				
クラス編成	クラス単位				
成績評価方法	発表 30 %、プリント記入20%、授業点20%、教会レポートが30%				

年間スケジュール

学期	学習内容	備考(指導方法など)
前期	1. 序 2. キリスト教人間観(1) 聖書の言語(新約聖書) 3. キリスト教人間観(2) 聖書の言語(旧約聖書) 4. キリスト教人間観(3)	全学期を通してA4ノートを使用しポートフォリオの作成 英語とコイネーギリシャ語とヘブライ語に親しむ
	前期中間試験	
	5. 信仰と生活 6. 労働と職業 7. 結婚 8. 家族 9. 死	生徒による課題研究の発表をKeynoteを使用して行う
	前期末試験	
学期	学習内容	備考(指導方法など)
後期	10. キリスト教と文学 11. キリスト教と科学 12. キリスト教と政治 13. 個人と共同体 14. 聖書解釈の歴史 15. まとめ	生徒による課題研究の発表をKeynoteを使用して行う
	後期試験	
	(空白)	